

インドネシア 第6回日本語作文スピーチコンテスト開催について

公益財団法人小丸交通財団（本社：広島県福山市、理事長：小丸成洋 以下、小丸交通財団）は、12月4日に福山通運本社において、来賓として在インドネシア日本国大使館の金杉憲治大使、ダルマ・プルサダ大学のトリ・マルジョコ学長、共催者として広島大学の佐藤利行理事・副学長が列席のなか、広島大学 PERSADA 共同プロジェクトセンターと共催し、第6回日本語作文スピーチコンテストを開催しました。

このたびのコンテストは、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日本とインドネシアをつないでのリモート開催となりました。

なお、福山通運株式会社（代表取締役社長：小丸成洋）は特別協賛をしています。

今回のコンテストは、インドネシアにおける日本語教育の向上を図る機運から、10大学111作品の応募があり、「交通」というテーマで10名の学生が日頃の学習の成果を十分に発揮し、スピーチを披露しました。最優秀賞は「新型コロナウイルス感染がインドネシアの公共交通機関に与えた影響」についてスピーチしたダルマ・プルサダ大学のクリスティアン・プトラ・リアンディさんが選ばれました。

今回のコンテストを通じて、交通安全意識の向上を図り、日本とインドネシアの相互理解をさらに深め、友好関係を強化してまいります。

【参加大学】

アイルランガ大学、インドネシア教育大学、インドネシア大学、ウダヤナ大学、ガジャマダ大学
ダルマ・プルサダ大学、ハサヌディン大学、パジャジャラン大学、ブラウイジャヤ大学、北スマトラ大学



スピーチコンテスト会場の様子



スピーチコンテスト記念撮影